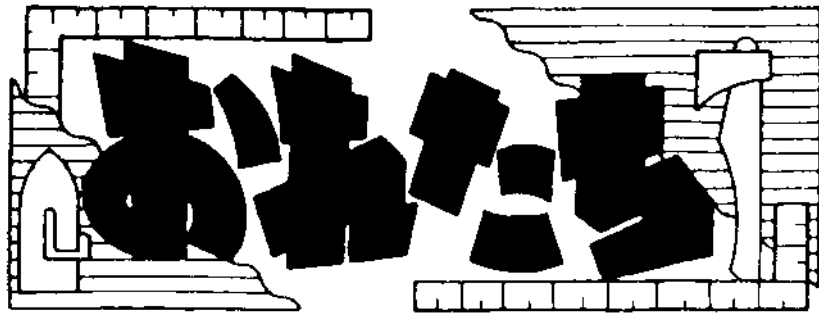


来月の無料法律相談は

4月20日(金) 14時~16時

希望者は前日までに予約を

3月初組合員数=2004人(-15人)



2012年

3月10日

第521号

http://www.doken-arakawa.org/

東京土建荒川支部

検索

# 「食事療法(マクロビオティック)で放射能を軽減」

よしどひをり  
吉度日央里さんの

## 放射能から子どもたちを守る講演のつどい

世界を震撼させた昨年3月11日に起きた東日本大震災と原発事故から丸一年が経過しました。地震と津波による物質的被害はいまだ整理されていません。また、原発事故による被害からの救済も先が見えない状態です。  
なかでも放射能による内部被ばくの問題。チェルノブイリ事故後、ベラルーシでは髪の毛が伸びない、小児甲状腺がんが増加しています。  
福島県だけに限りませんが、子どもたちが甲状腺の異

東京土建荒川支部では、特に放射能の影響を受けやすい子どもにスポットをあて、2月19日「子どもたちを放射能から守る講演のつどい」をサンパール荒川で開催しました。「放射能に打ち勝つ食事と手当を全国に広める会」代表・オーガニックジャーナリストの吉度日央里さんが、放射能に負けない食事法について話をしました。  
子どもの甲状腺が異常数値を示している



吉度日央里 (よしど・ひをり)

著書に『種まき大作戦』『かんたん! 部屋で野菜をつくる』。子どもたちを放射能から守る全国ネット運営メンバー。

## 最高の料理はお腹をすかすこと



玄米試食後に行ったワーク。ペアを組んで腕を引っぱり合い、どれだけふんばれるかを実践した

今回の講演の中心である放射能被ばくの問題は、空気中に飛散している放射性物質の放射線に外的に被ばくした場合は「外部被ばく」といいます。また、その放射性物質を呼吸・飲料水・食品・土ほこりなど体内に摂取した場合は「内部被ばく」といいます。どちらの場合も体内に摂取した放射性

常数値を示している事態については、現段階では個人の責任と位置づけられ、原発事故との因果関係が曖昧にされています。  
東海村で以前講演をした時、「津波があと30、40センチが高かったら東海原発もダメでした」と主催者が話していたのにゾッとしました。  
私は、病理をマクロビオテックという方法論で分析しています。マクロビオテックとは物質の特性を分析の都合上、「陰」と「陽」に分類し、

### みそやリンゴは放射性物質を排出する

また、この分類の対象は万物に該当します。もっと具体的にいえば、物的・心的・実在的・観念的あらゆるものが対象になります。  
病気も陰陽の不適正なバランスでなっています。つまり、自然環境・生活環境・食物の陰陽のバランスの崩壊からなります。



## 未組織の仲間に出る

PAL総会に152人が参加

2月26日、けんせつプラザ東京で「PAL(組合職長の会)総会」が開催され、全体で152人が参加(写真)。未組織の仲間に出る間に打って出るPALに強化し、会員拡大月間を年間2回取り組むことを確認しました。関連記事3面

みそやリンゴは放射性物質を排出する  
自然塩や天然醸造のしょう油、みそを主に、ゴマ油やなたね油を使って料理します。シンプルな料理が命の源です。  
みそや梅干し、リンゴ、大根おろしは放射性物質を体外に排出してくれます。れんこんは放射性物質を吸った呼吸器を守ります。納豆や漬物も酵素作用で正常な白血球数を維持してくれます。  
最高の料理は何よりもお腹をすかすこと。よくかんで、そのものの味を楽しむ。これが何よりも大切です。  
文 竹達浩記者・南千住  
写真 角田輝夫記者・日暮里

### 東京土建一般労働組合荒川支部第64回定期大会告示

東京土建一般労働組合同規約第20条にもとづき、荒川支部第64回定期大会を下記の通り開催する。

支部執行委員長 豊田佳二  
支部大会準備委員長 八木博行

- 1、日時 2012年4月15日(日) 9時30分開会～16時40分閉会
- 2、会場 日本青年館 新宿区霞ヶ丘町7-1
- 3、代議員 2月1日付け現勢で組合員20人に1人(四捨五入)

### 2012年度東京土建一般労働組合荒川支部役員選挙告示

支部大会選挙管理委員長 水戸部正平

2012年3月8日支部執行委員会で告示

- 1、支部役員定数
  - ・執行委員長(1名)・副執行委員長(4名)
  - ・書記長(1名)・書記次長(2名)
  - ・常任執行委員(10名)
  - ・執行委員(30名)

※分会の承認を得た上で届出をし、支部大会で承認
- ・会計監査(2名)
- 2、立候補の受付
  - 受付日時 4月2日(月) 午後5時 厳守
  - 受付場所 荒川支部組合事務所

### 日比谷

## 建設春闘決起集会 3千人が国交省を包囲

# 大手は労働者に利益還元せよ



消費税引き上げ反対・建設産業の再生をうったえる宮田議長

【小野澤富彦記者】西尾久「賃金の引き上げで建設産業の再生を」「大手ゼネコンは利益を労働者と下請けに還元しろ」。生公連と建設首都圏共闘は2月10日、建設労働者春闘決起集会を開き、東京土建など3500人の仲間が参加しました。

国交省と厚労省を包囲した後、参加者一人ひとりが個人請願を行い、午後からは日比谷野音で集会に移りました。主催者あいさつに立った建設首都圏共闘の宮田議長は、「野田政権は社会保障と税の一体改革で消費税を上げようとしている。社会保障を良くするためと消費税を導入してから20数年、私たちの社会保障は良くなったと言えるか。悪くなった一方ではないか」と訴えました。また、日本共産党の田村智子参議院議員は来賓あいさつで、「中小業者にとって消費税は損税になっている。自腹を切っている。もし、10%に上げれば中小業者はつぶれる。何としても阻止しなければならぬ」と述べました。大阪建設共闘などの連帯あいさつ後閉会。参加者は衆参両院に向けて請願デモを行いました。荒川支部の参加は33人でした。



表彰を受ける教宣部員の角田さん＝本部で

## 『おれたち』(支部機関紙)が特選に 東京土建機関紙コンクール

本部教育宣伝部は1月27日、「東京土建機関紙コンクール」の審査を行い、2月12日に受賞紙の表彰式を行いました。荒川支部は、支部機関紙『おれたち』が4年連続の「特選」を受賞、川又好一さんの「元従軍看護婦 坂本登喜志さんに聞く」(『おれたち』掲載記事)と竹達浩さんの「雪崩だ 必死に脱出」(本部『けんせつ』掲載記事)がそれぞれ「記事賞」を受賞しました。

## 新春の集い 交換留学生が交流深める アクト21 日中友好協会荒川が開く

【時田國勝通信員】西尾久「日中友好協会荒川支部は2月11日、アクト21で新春の集いを開き、西尾久9条の会から3人が参加しました。参加した留学生12人は、獅子舞、手品、うたごえなどで交流しました。天津外国語大学日本語学院3年生の魏琳琳さんは去年9月、早稲田大学に交換留学生として来日。魏さんは「日本はとてもすばらしい。天津市郊外は冬はマイナス30℃くらいで、とても寒いです」と話していました。赤土小学校校長は、去年は東日本大震災で天津小との交換留学ができず、今年必ず実行したいと述べました。



新春のつどいに参加した留学生のみなさん

## 仲間の作品コンクール 濱田さん(分會)が佳作

本部厚生文化部主催の第28回仲間の作品コンクールが行われ、俳句部門で南千住分会の濱田和男さんの作品が佳作に選ばれました。

仕事着で冬の光りの中歩く

## 子や孫のために 参加したみなさんから

### 放射能から子どもを守るつどい

### 講演後に

### 家族は玄米食に

大沢たみ子さん・区在住

つどいのチラシ「子どもたちを放射能から守る…」のタイトルを見て、かわい

い孫のために出席したいと思いましたが、今、私たちが暮らしているこの地で何が起きていますか。新聞やテレビの情報を通じていいの

か、分かりません。孫が内部被ばくで病気になるたら大変です。講演後、私の家族は全員玄米食になり、会場で買った本を参考に料理をしています。

と難しい時期に来ている。でも、吉度さんの話は聞いてみたいと思いました。玄米がいい、野菜は皮を剥かない方がいい。梅干、味噌、納豆、海藻、野菜、根菜など自然食品がいいようです。砂糖とか化学の物はよくないなど、食物が豊富になり過ぎて今この時代には難しいですが、頭に入れておけばその都度注意できるかも知れませんね。

## できることは 子どもを進めたい

小谷野恵子さん・日暮里1

玄米や自然食品を主体とした食事という話でしたが、近所に自然食品の店がありません。講演でネットで購入できると言っていたんですが、子どもたちに頼まないといけない。説明が分かりにくいところもありましたが、「食事は良くなる」とが大切」ということは理解できます。

孫たちの将来を心配しています。できることは子どもたちとも話し合って進めていきます。もう少し早い時期に(講演が)あれば参加者も多かったでしょう。

砂糖など良くないものには注意します

石田和子さん・日暮里1

放射能汚染の影響は、もう私にはそれほど関係ない

昨年春一番拡大はゼロだった荒川分会。秋の月間の大量加入もあって年間目標を達成しましたが、横のつながりもやめてしまっており、つながりの拡

大が難しくなっているといえます。

中村副分会長は、「今回は事業所があったので成果になっているけど、個人だと難しい時期に来ている。」

## 事業所から成果あげる

### 春一番拡大 荒川分会

対象者の反応はないが、チラシは配っている。知っている所には必ず入れて

いる。加藤分会長は「ロー作戦が頼り」と話していました。

きっかけになる駅頭宣伝も重要とか。取材が終わるとすぐチラシ配りにセンターを後にした荒川分会でした。

取材 川又好一記者

日暮里1

## 自然食品を購入しています

わが家には小学6年生の子どもがいます。福島原発事故は心配です。食品からの内部被ばくは子どもの方が影響を受けやすく、食べ物「陰陽」の話は参考になりました。

放射能の影響を受けない南の方の自然食品を購入しよう心がけて、料理をしています。

服部和美さん・事業所







ひとくち映画情報

「アンネの追憶」

アルベルト・ネグリン監督



©ITALIN INTERNAT  
IONAL FILM srl

世界中で読まれている『アンネの日記』の著者として知られるユダヤ人

少女、アンネ・フランクの日記に記されることのない日々を描いた人間ドラマ。彼女の親友ハネリ・ホスラーの証言をまとめた「もうひとつの『アンネの日記』」を基に、強制収容所に送られたアンネのたどった過酷な運命が、一家の中でただ一人生き残った父オットーの回想でつづられる。

ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害を逃れた少女、アンネ・フランクの日記に記されることのない日々を描いた人間ドラマ。彼女の親友ハネリ・ホスラーの証言をまとめた「もうひとつの『アンネの日記』」を基に、強制収容所に送られたアンネのたどった過酷な運命が、一家の中でただ一人生き残った父オットーの回想でつづられる。



ながい 永井 彰さん 「常に『より良い製品』と『より省力化』をめざして努力して来ましたが、更なる企業理念としては『より環境にやさしい』というキーワードをつけ加えました」と話します

永井 彰さん  
螺子の量産で100余年  
絶えず改革・改善で前へ

尾久橋通り赤土小学校前の通りを入ると、1901(明治34)年創業の老舗螺子(ねじ)メーカーがあります。作っているのは、最先端のマイクロサイズ(小径)「六角穴付き止めねじ」

たのが国内で初めてとされています。火縄銃制作に欠かせない構造部品として製造したのもこの頃で、銃砲伝来と共に国内でのねじの歴史が幕を開けたとされています」と話す永井さん。



戦時中は軍需で  
戦後は民需で発展

1901年に初代永井多吉郎が螺子の量産工場とし

て事業を始めました。昭和初期に2代目の永井栄之輔に引き継がれ、切削を中心とする新鋭機器を導入しました。自社技術力を高め、精密小径部品の製造技術を確立。軍需産業集積を作る施策の一環として、戦時中の43(昭和18)年に、深川から現在地の尾久に移設しました。戦後は民需品でヒット商品を開発してき

ました。100年に及ぶ歴史、そして4代にわたる製品へのこだわりが、生産される精密螺子に息づいています。その品質には定評があり、「精密小径螺子の事は、永井に聞け」とまで業界ではいわれています。

63(昭和38)年に前代表の永井靖一が3代目として事業を引き継ぎ、測量機計器類の国産化のための螺子と部品の製造を依頼され、精密螺子、精密部品の製作を再開します。3代目は多段式圧造工程を取り入れた圧造機械、伝統の切削技術、そして熱処理と、圧造↓切削↓熱処理までの一貫生産体制を確立しました。クライアントの厳しい製品要求に応える精密螺子製造を手がけ、現在の基盤を築き上げました。

若い5代目を指名スピードある現代に対応

精密螺子なら  
永井に聞け

組織形態としては、65



永井製作所がつくっているねじ

100年の歴史が会社を作り、伝統を育む。時代の変化に対応するためには、現状に甘んずることなく絶えず改革・改善を進める姿がありました。



生前の中村さん

訃報

長く南千住分会の厚生文化部長を務めていた、中村美和さん(建築金物)が1月23日亡くなりました。享年83。

同じ分会・群の小川隆志さんは、二年前から体調を崩し、寝たきり状態の生活、入院したことも聞いていました。最期は苦しみます」と仲間の死を悼んでいました。ご冥福をお祈り申し上げます。根本武義記者＝南千住



明治通りからみたサンパール通り

サンパール通りは、明治通りに面したサンパール荒川から博善社を経て尾竹橋通りまで北へ伸びる1272メートルの道だ。

1888(明治21)年に博善社火葬場が出来て

71(昭和46)年までこの通りに木造2階の荒川区役所があった。解体後、跡地に荒川区民会館が建設された。75(昭和50)年のことだ。2001(平成13)年に博善社通りからサンパール通りに変わった。道路北側には春になると八重桜が咲き、通る人の目を楽しませてくれる。文 並木義男記者＝荒川

